



あたごふれあい人権文化センターだより

2022年8月1日発行

発行：あたごふれあい人権文化センター
住所：〒682-0846
鳥取県倉吉市鴨河内1818-2
電話：0858-28-5440 (FAX兼)
E-Mail：atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより
「心ゆたかに」に関するご意見・ご要望を
お寄せください。

『戦争は、最大の人権侵害である』

戦争と人権

戦争は最大の人権侵害を生み出しています。戦争に際して起こる武力紛争（軍事的な衝突）は人類の歴史において深刻かつ大規模な人権侵害を引き起こしてきました。そして、現在も武力紛争によって、多くの罪もない人々が殺害されています。

第二次世界大戦後の経験から採択された「世界人権宣言」の第3条において「すべての人は、生命・自由及び身体の安全に対する権利を有する」とされています。また、国際的にも国際人権法や国際人道法・市民的及び政治的権利に対する規約（自由権規約）の履行確保や司法的解決など平和的手段によって国際紛争を解決するといった様々な方策が求められています。しかし、もう一方では各国によって様々な条例等を批准していないといった難しさが挙げられます。紛争を引き起こすのは世界的に強い権力者、それに対して戦争の被害にあうのは弱い立場に置かれた個人であるにも関わらず、多くの場合市民の犠牲は報道すらされず、人々は無関心あるいはよくわからないまま同様の被害が繰り返されているとの指摘もあります。



戦争はどちらの立場の戦争であれ、人々が平等と自由のもと尊厳をもって生きる「人権」に敵対するものであり、人権が守られるには平和が前提です。平和でなければ人権の保障や発展が望めないことは明らかです。

平和とSDGs（持続可能な開発目標）

SDGsは、「地球上の誰一人取り残さない」という強い意志のもと、地球を保護しながら、あらゆる貧困を解消し、すべての人が平和と豊かさを得ることのできる社会を目指し設定されています。17ある目標は課題解決の糸口になるものですが、その中の目標16「平和と公正をすべての人に」は、その名の通り世界の平和と公正を実現することを目標としています。

（裏面につづく）

差別落書きは重大な人権侵害です！

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合は、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課 TEL0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター TEL0858-28-5440



WORLD

平和というと真っ先に紛争の根絶を思い浮かべる方も多かもしれませんが、SDGs目標16は紛争以外にもあらゆる暴力や犯罪の根絶、加えて誰もが司法を利用できる状態を目指しており、多角的な視点から検討しなければならない内容です。

日本は世界的に見ても平和な国であり、問題になるようなことはないと思う人もいるでしょう。しかし、現状では解決すべき課題がいくつもあります。子どもの虐待も大きな課題のひとつです。

「平和と公正をすべての人に」は、理想ではありますが現実とはギャップがあり、国際的な取り組みも必要となることからいつ達成できるのかわからない目標です。しかしながら、最初からできないと諦めて何もしなければ、できたはずのこともできなくなります。提示される課題には、個人レベルの働きかけで改善ができることも少なくありません。個人レベルで何ができるのかを考えるならば、まず世界、日本の現状を知ることから始めることが大切だと思います。そこから世界の現状が見えてきます。自分なりの目標16を達成するための課題が明らかになったならば、あとは解決に向けて自分ができることから始めるだけです。

必要であれば周りの人に相談しつつ、自分でできることを考えて行動すれば平和な世の中へと一歩近づきます。

～2022年度 部落解放月間の啓発グッズをつくりました～

関金地区振興協議会人権教育部の部落解放月間における啓発活動として、啓発グッズを作成しています。今年度は、関金小学校・鴨川中学校とも連携して作成配布することができました。



(作成の様子)

「周りの人たちを大切にし、差別を許さない気持ちを高めるとともに、人権尊重の視点からもより良い関金町にしよう」と、みんなが思いをひとつにしたグッズ作り。自分の生活を振り返るとともに、「人を大切にする事」や「お互いに理解しあうこと」を考えながらマグネットのイラストを描きました。

この思いが、各家庭や地域にも広がっていくことを願っています。



8月のあたごふれあいサロン

日時：8月26日(金)13:30～

内容：人権DVD鑑賞「探梅(たんばい)」～春、遠からじ～

場所：あたごふれあい人権文化センター

※当日はマスク着用をお願いします。



(内容) 人は誰しも心の中に四季を持っています。家族や地域から孤立したり、支援や見守りが必要な人は、「心の冬」を感じているかもしれません。冷たく閉ざされた心に、春を感じさせる風を吹き込むのは「人」の温もりです。この作品では、それぞれの事情や過去を抱えた登場人物の交流を描きながら、お互いが支え合い、温かく見守りあう地域社会の大切さを語りかけていきます。